

---

# **魔法少女リリカルなのは～とある魔法と転生者**

ゼルマリ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは」とある魔法と転生者

### 【NNコード】

N3219N

### 【作者名】 ゼルマリ

### 【あらすじ】

神さまのせいで死んでしまった桜井 神羅転生した神羅はリリなの世界で「常識? なにそれ? おいしいの?」だったり「原作? なにそれ? おいしいの?」といった物語

## 星と雷と夜天と月の始まり

ある日一つの事故で死んでしまった主人公本当は神様のミスで死んだことを知りお詫びとして魔法少女リリカルなのはの世界に転生、彼女いない歴13年の主人公が転生前のアニメ知識とチート能力を駆使して原作キャラとラブコメやフラグ回避もしかすると自主規制をもします

### プロローグ

少年は少女を助けるため平和を捨てた  
少女は婚約者でもある少年を助けたい思い  
母に叩かれても全身で受け入れる少女  
足が麻痺して車椅子がないと動けない少女  
かずかずの物語でつくられた神様の奇跡<sup>システム</sup>なんて原作崩壊してもその幻想をぶつ殺すりよ主人公

## 星と雷と夜天と月の始まり（後書き）

駄文ですがよろしくお願ひします  
たくさん人の能力を使うかもしれないのに使用許可がOKならば  
感想等で教えてください

## 第1話転生

いきなりだが単刀直入に言おう俺死にました  
ある日中学2年の12月ある事故がきっかけで死んだのですその事  
故は偶然通りかかった俺に鉄骨が降り注いだのですしかも5本  
気がついて回避しようとしたが体がというよりもアキレス腱が急に  
切れで動けなくなつていた俺は思つた  
(神よこれは俺に向かつてのいじめか?)

とそして俺は鉄骨の下敷きになつた

「ん? ? ?

「ん? ? ?

「起きました?」

そこには少女が立つていた

「あんた誰?」

「どうもすみませんでした」「はあ?」

少女がおれに土下座した

「私、神と呼ばれている者です

実は私のミスであなたが死んでしまい

あなたに謝罪しようということでお

今に至るわけです

「謝罪してくれていいから許すけどこれからどうすればいいんだ?」

「お詫びに魔法少女リリカルなのはの世界に転生しようと思つています」

「リリなのマジで?」神は頷く「はい」

「行きます! !」「能力をどうしますか?」

「複写能力をお願いします」「わかりました」

そして俺は身体能力をMAXにし

神に道具について話していた

「能力に必要なやつだけでいい

「わかりました魔力量ですが」

「Fでたのむ」

「珍しいですね」

他の人達はみんなEX+なのに

「他は他、俺は俺だ」

「なるほど〜」

「まあ全ての行動に魔力負荷をかけるけど  
神はその場でずっとこけた

「こける理由はないだろ」

「とにかく、いつてらしゃ〜い」

「ちょおま落とし穴はああああああ」

「あつデバイス忘れてた、まついつか」

そして俺は桜井神羅として転生した

## 第1話転生（後書き）

誰か私に文才を  
アドバイスなど  
わけてください

## 第2話家族の謎？（前書き）

第2話から短くなります

## 第2話家族の謎？

いつも初めてまして桜井神羅といいます  
神の力で転生して約3年がたとうとしています  
たつた3年でも驚くことはたくさんありました  
一つは幼なじみでもう一つは両親と母の家族に  
しかもしもっとも驚いたのは体が半エンジニアードといつ」と  
ピピピピ「起きなさい神羅起きないと女の子の服を」  
ピッ台詞が終わる前に田覚まし時計が止まる「ちつ」「母れん?????

扉には文物の服を持った母の桜井イカロスがいた  
現在AM4:00

俺は幼なじみの家と共有している道場にいく

「神羅おはよ」「おはよう兄さん」

道場には俺の兄桜井葵がいた

俺が素振り10回程度すると後ろから

「おはよう神羅」

と聞こえたので俺は聞こえた方向を向き「おはよう[兄]也」と囁ひ

高町恭也幼なじみの高町なのはの兄

この日

恭也兄が俺にO?H?A?N?A?S?H?I?を仕掛けてきた

「永全不動八門御神真刀流高町恭也」

「永全不動八門桜井流崩天術桜井神羅」

「参る」

「葵君おはよ」「おはよ」

「お兄ちゃんは神羅君となにやつてるの？」

「O?H?A?N?A?S?H?I?だとぞ」

「お兄ちゃん私の婚約者が神羅羅なのが嫌なのかなあ」「多分」

「恭也兄神速は卑怯だよ」

「なのはは渡さん」

「桜井流崩天術居合い奥義雷光一閃」

「ぐああああああ」バタツ

雷光一閃 剣に雷をまとわせ敵を切り裂く

「神羅君おはよっ」「おはようなのは」

「誕生日おめでとうなのは（神羅君）」

「神羅～なのはちや～んいくわよ～」「は～い」「俺となのはは車に乗る

今日は3月15日俺となのはの誕生日  
毎年誕生日になると旅行をするのである

「神羅君は髪をなんで切らないの？」

「髪を切つても次の日にはこの長さになるんだ」そして旅館に着く  
「何故なのはと同室なんだ？」

「お父さんとお母さんが決めたんだもん」

その瞬間ドカン、

と母さん、父さんさらに妹の御琴のいる部屋から聞こえ俺は母さん  
達の部屋に入る

「兄さん何したんだよ」

俺が見た光景は血まみれの妹肩に剣を刺された母そして妹と同じく  
血まみれになつた父そして炎の中で立つ兄

「？？？？」「答えるよ」

「俺の母はイカロスではない」

「何を言って」

「俺の母はイカロスではなくジユノバだ」

「ジユノバ？？？？母さんの研究室のあれか！」

「その通りだ」

### 第3話中の謎の事（福井也）

といつも魔法に触れることができた

第3話母の隠し事

葵 Side

「神羅や御琴はイカロスの血いや違う」

「聖王オリヴィエとでも言つかう

俺はイカロスがプレシア？テスター

た聖王オリヴィエのことを語した

「そんな黒鹿な話ある話

slide out

「そんな馬鹿な？？？」

→ 神羅聞こえてる？ 黙つていてごめんね

俺は母さんの声を聞いて母さんの方を見る

×心中で私の方に向かって話しかけてく  
×二、こう?×

ハリスの才能

>あなたの魔力と一緒に解除するネックレスを持つて私に続いてく

>わかつた！<

我、混沌を滅ぼす者なり

「我、混沌を滅ぼす者なり」

> 契約の元、調和の力を解き放てく

→用は刃を妥は等りをく  
一契約の元、調和の力を解き放て

「月は力を機に語りを

月に水在木に詠に在

「そして勝利の心は」

体の中に力がいや体の中の力が目覚める

「ハニカムの歴史」

俺と母さんの声が重なる

「へいの手に魔法をヴィクトリハートセシトアップ♪」「seto

p

＞イメージして自分の魔法を制御する武器と自分の身を守る甲冑をく  
俺はすぐさまFFXの主人公の服をイメージする  
武器はFFVIIの片翼の天使の剣とクロスミリージュをイメージ  
する

「イメージ認証」俺の服がイメージビリに  
「葵、俺は、お前を倒す」

「剣と銃の組み合わせかお前らしきな」

「やられろよ」キンキン

「がつ」

「いまのお前では俺は倒せない」

俺は葵が背を見せた瞬間

意識を手放した

目が覚めたらなのはが涙目でおれの顔を覗いていた

「なのは此処は」「病院だよ」

俺は、母さんと父さん、妹が死んだことを聞かされ

俺が一週間寝ていたことも知った

意識が戻った俺はすぐに退院した

葬式は挙げずに異界送りをしただけ

そして新たな事件が4年後起ころうとは

## 幕問原作開始時の設定（前書き）

「どうどう来た」の時が？？？？？  
あるえ？どこからか黄色の極太光線が（本場）

## 幕問原作開始時の設定

神「作者のくだらない話がはつじつまつるよ~~~~~」

ゼルマリ「何がくだらない話じゃボケーーー」

な「題名どり主人公の設定を暴露します」

神「なんか恥ずかしいな~~~」

ゼルマリ「じゃスタートです」

桜井神羅

3月9日生まれ（転生前） 3月15日生まれ

歳13歳 8歳

性別男の娘

髪の色金色

瞳の色赤と翠のオッドアイ

身長135cm

体重35kg

魔力光黒色

魔力量F（3歳） C

身体能力EX

知能EX

状況把握EX

気配察知SSS

気配抹消SSS

運命（必ず「コタ」に巻きこまれる）

幸運F - （上条 麻以上に不幸）  
レアスキル

希少能力

複写能力？？？記憶にあれば何でも複写？改造？融合可能

聖王の鎧？？？ランクまでの砲撃を無傷で耐えられるしかし瀕死

状態もしくは聖王覚醒状態でしか自分の意志で発動できない

？？？（第4話ぐらいで判明）????とあるロストロギアの細胞ら

しい能力は不明

？？？（同じく第4話で判明） ？？？とある星に流れている星の血

らしい同じく能力は不明

自動発動能力（複写）

完全記憶能力？？？見た物もしくは人を完全記憶する能力現在は魔導書10万3000冊と転生前の記憶さらに闇の書（0ページ）を所有中

デバイスヴィクトリハート????（制作中）

性格フェイト？テスター？サに似ている

好きな物甘い食べ物、かわいいもの

嫌いな物女装（時々諦めて着ている）告白してくる男子

特技料理（高町家と並ぶ）？声帯模写？物作り？ハッキング

中学2年生の12月のある日神の手違いで死亡お詫びとして魔法少女リリカルなのはの世界に転生。転生後の体は髪は膝ぐらいまであり金髪さらには赤と翠のオッドアイのため銀髪に変装魔法で母親がごまかした瞳はカラーレンタクト（赤）で揃えている（翠もあるらしい）髪の毛は運動する時ポニー？サイドポニー？ツインテイルにしている母親が亡くなつた日に母が聖王オリヴィエとということを知る神「どこからつっこめばいいのやら」

な「確かに」

ゼルマリ「ふつ計画通り????？」

神「イラつくから超電磁砲」

ゼルマリ「うにやああああ」

な「作者さんは気絶しちゃたしこの辺で」

な「See you」

神「Next storyで会おう」「バイバーイ」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3219z/>

---

魔法少女リリカルなのは～とある魔法と転生者

2011年12月27日21時49分発行